無料PDF ｜ 0章

副業ブログで5年・100記事・教材費50万円超を 溶かした私が気づいた、たった1つの構造。

ビジネッツ https://bizinets.biz/

はじめに

このPDFを開いてくれた、あなたへ。

最初に確認させてください。

あなたは今、こんな状態ではないでしょうか。

- 副業でブログやアフィリエイトを始めたが、成果が出ていない
- 教材やスクールに投資したが、学んだまま実践に活かせていない
- 記事は書いているのに、アクセスも収益も積み上がらない
- 何が間違っているのか分からないまま、時間だけ過ぎている

もしそうなら、このPDFはあなたのために書きました。

私はビジネッツという情報発信サイトを運営しています。

このサイトは「きれいなサクセスストーリー」ではありません。

5年間、ほぼ成果なし。書いた記事は100本以上。使った教材費は50万円超。

それが私の出発点です。

この0章では、そんな私が何年もかけてたどり着いた「1つの結論」をお伝えします。

やり方の話は、まだ出てきません。なぜなら、「やり方」を受け取る前に、先に壊さなければならないものがあるからです。

私が5年間・100記事・50万円で学んだこと

2019年ごろ、私は副業でブログを始めました。

動機はシンプルで、「会社以外の収入源が欲しかった」だけです。

最初の1〜2年は、とにかく記事を書き続けました。

SEO入門の本を読み、キーワードを調べ、毎週コツコツと投稿しました。

2年後の月間アクセス数は、約300〜500PV。

収益は、月に数百円から千円程度。ほぼゼロです。

「情報が足りないのかもしれない」と思い、教材を買い始めました。

それが、さらなる迷走の始まりでした。

- SEO特化の教材　約3〜5万円（複数購入）
- アフィリエイト・ブログ講座　約10〜15万円
- 収益化スクール・コンサル　約20万円以上
- ツール・サーバー・書籍など　約10万円以上

5年間で、教材・スクール・ツール費用だけで50万円超。

それでも、月1万円を安定的に超えることは一度もありませんでした。

最高でも月に数千円程度。収益はほぼゼロのまま、5年が過ぎました。

当時の私は、こう考えていました。

「まだ努力が足りない。もっとやれば、いつか報われるはずだ」

今なら断言できます。

それは努力不足ではありませんでした。設計の問題でした。

「真面目にやっているのに、なぜ積み上がらないのか」

副業ブログ・アフィリエイト経験者の多くが、こう言います。

「サボっているわけじゃない。でも、成果が出ない」

私が話を聞いてきた中で、成果が出ない人には共通した特徴がありました。

①　**作業はしている**　でも「何のための作業か」が曖昧

②　**ノウハウは知っている**　でも「どの順番でやるか」が分からない

③　**記事は書いている**　でも「誰に向けて書いているか」がブレている

④　**教材を買っている**　でも「自分のケースへの応用」ができない

これらに共通しているのは、「やり方の問題」ではありません。

「なぜこれをやるのか」という思想が、最初から抜けているのです。

思想がない状態でSEOを学ぶとどうなるか。

検索ボリュームがあるから書く。競合が弱いから狙う。トレンドだから乗る。

その場その場の判断になります。

半年後、こうなります。

「自分のサイトが何者なのか、分からなくなった」

これが、最も危険な状態です。

AIを使っても、なぜ積み上がらないのか

少し前、私はこんな試みをしました。

自分の強み、興味のある分野、経験してきたことを棚卸しして、100個以上リストアップしました。

「これだけあれば、記事はいくらでも書ける」と思い、AIを使って100記事以上を書きました。

結果は——

ほとんどインデックスすらされませんでした。

アクセスもなく、反応もなく、「何が悪いのか分からない」状態が続きました。

当時の私は、こう思っていました。

「記事の数が足りないのかもしれない」

「内容の質が低いのかもしれない」

「AIの使い方が悪いのかもしれない」

でも、どれも違いました。

一番の問題は、「何を評価してほしいサイトなのか」が設計されていなかったことです。

記事はあっても、構造がありませんでした。

AIが書ける時代だからこそ、「何を書かせるか」より先に「誰のためのサイトか」が問われます。

この順番を間違えると、AIがあっても努力は積み上がりません。

ノウハウより先に必要なもの

多くの人は、サイトをこう捉えています。

「記事をたくさん書けば、いつかアクセスが増える」

しかし積み上がるサイトを作っている人は、最初にこう考えます。

「このサイトは、誰の、どんな状態を解決するためにあるのか」

この違いは、実行量ではなく「設計の有無」です。

設計とは、難しいものではありません。

一言で言えば、「何を載せないかを決めること」です。

書く記事を増やすのは簡単です。

捨てる判断をするのは、難しい。

だからほとんどの人は、設計をせずに「とにかく書く」を選びます。

その結果、1年後に手元に残るのは、

「バラバラな記事の集まり」と「消えかけたモチベーション」だけです。

私が5年かけて気づいたのは、これだけです。

思想 → 設計 → 行動

この順番を守れば、努力は積み上がります。

この順番を飛ばすと、努力は消耗になります。

それだけです。

「設計」を、もう少し具体的に説明します

「設計」という言葉が抽象的に感じた方のために、少し補足します。

設計とは、「何を書くかを決めること」ではありません。

設計とは、「何を書かないかを決めること」です。

たとえば、こんな違いがあります。

設計のないサイト：

アクセス数が多そうなキーワードを見つけたら書く。競合が少なければ書く。流行っているから書く。

1年後：「このサイト、結局何を伝えたかったんだろう」と自分でも分からなくなる。

設計のあるサイト：

「副業ブログで5年失敗した自分と同じ悩みを持つ人に、順番を渡す」という軸が先にある。

その軸に合う記事だけを書く。合わない記事は、どれだけ検索需要があっても書かない。

1年後：記事の数は少なくても、サイト全体が一つのメッセージとして機能している。

これが設計です。難しくはありません。

「何のためのサイトか」を決めるだけです。

「思想 → 設計 → 行動」の先にあるもの

「思想 → 設計 → 行動」という順番は、実はさらに続きがあります。

ビジネッツでは、この流れを4段階で捉えています。

① **思想設計** なぜこのサイトを作るのか。何を価値とするのか。どんな迷いを解消するのか。

② **判断の軸** 迷ったときに何を基準に選ぶか。どの選択肢を採用し、どれを捨てるか。

③ **実務** 判断したことを実装する。具体的な作業や流れを形にする。

④ **成果への回収** なぜそれが評価されるのか。どこに価値が残るのか。

このPDFで渡しているのは、①の入口——「思想設計の出発点」です。

①が固まらないまま②③④に進むと、どこかで必ず詰まります。

私が50万円かけて詰まり続けたのは、①を飛ばして②③ばかりを学んでいたからです。

今日から使える「たった1つの問い」

ここで、一つだけお願いがあります。

このPDFを読み終えた後、今日中に次の問いに答えてみてください。

「自分のサイトは、誰の、どんな状態を解決するために存在するのか」

答えられなくても構いません。

「答えられない」という事実に気づくことが、すでに前進だからです。

5年間、私はこの問いを持たないまま100本の記事を書きました。

もし最初からこの問いを持っていたなら、20本で同じ成果が出せていたかもしれません。

問いを持つだけで、次の行動が変わります。

次に書く記事のテーマが変わります。

何をやめるかが見えてきます。

この問いを「使える判断」に変えるには

問いに答えを出しても、多くの人はそこで止まります。

なぜなら、「言語化はできた。でも次に何をすればいいか分からない」という状態になるからです。

これは当然のことで、言語化はあくまで出発点です。

その先には、こんな段階が続きます。

- 言語化した軸を、キーワード設計に落とす
- キーワードを、柱記事と枝記事の構造に整理する
- 構造を、内部リンクと回遊設計でつなぐ
- 回遊を、問い合わせや収益につながる導線で完成させる

このPDFで渡せるのは、その最初の一歩——

「思想 → 設計 → 行動」という順番の意味と、「何を書かないかを決める」という設計の本質です。

それだけで、今日から記事の書き方も、サイトの見方も変わるはずです。

このメルマガでは引き続き、その「順番」の中身を具体的にお届けします。

このPDFを読んで、変わること

このPDFで、具体的なやり方は一つも出てきませんでした。

それは意図的なことです。

やり方を先に渡しても、土台がなければ消化できない。私自身が50万円かけてそれを証明しました。

でも、このPDFを読んだあなたはすでに変わっています。

「努力の量ではなく、順番の問題だった」

「設計とは、何を書かないかを決めることだ」

「自分のサイトが何者かを言えないことが、最大の問題だった」

この3つが腑に落ちたなら、今日から行動が変わります。

まず一つだけやってみてください。

「このサイトは、誰の、どんな状態を解決するためにあるのか」

この問いに、1文で答えを書いてみる。

それだけです。それが設計の始まりです。

ビジネッツ ｜ https://bizinets.biz/

© ビジネッツ All rights reserved.